

▶2月11日(祝)に府中駅伝競走大会が開催されます



平成24年 第4回定例会

府中市市税条例の一部を改正する条例など 11議案を審議

平成24年第4回市議会定例会は、12月3日から18日までの16日間の会期で開催されました。
市長提出議案は、府中市市税条例の一部を改正する条例など11件を審議した結果、可決9件、承認2件となりました。
また、陳情3件が審議されました。

今定例会で市長から、「府中市市税条例の一部を改正する条例」についての議案が提出されました。この議案は、地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。

主な改正点の1点目として、市民税の申告に関して、年金所得者で寡婦(寡夫)控除の適用を受けようとする者は個人市民税の申告書を提出する必要があるりましたが、年金所得者が日本年金機構等の年金保険者に提出する扶養親族申告書の記載項目に「寡婦(寡夫)控除」を追加したことで、年金保険者から市に提出される公的年金報告書により適用の有無を把握することが可能となりました。

2点目として、地方税法において、法律の定める範囲内で地方公共団体が特例措置の内容を条例で定めることができる仕組み、いわゆる「わがまち特例」の創設に伴い、条例に委任された下水道除害施設に係る固定資産税の課税標準の特例割合を定める規定を新設するものです。当該施設の特例割合については、地方税法において4分の3を参酌し、3分の2以上6分の5以下となっており、本市においては、配慮すべき特段の事由がないことから、従来の特例割合で、かつ法改正後の参酌すべき割合である4分の3と定めるものです。

総務委員会で審査され、質疑に対し、「寡婦(寡夫)に関する改正では、申告の手續の簡素化が改正の目的であり、税額に影響等はない」市

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

<12月>

- 3日 本会議(委員会付託等)
- 4日 " (一般質問)
- 5日 " (")
- 6日 総務委員会
- 7日 文教委員会
- 10日 厚生経済委員会
- 11日 建設環境委員会
- 12日 基地跡地対策特別委員会
- 13日 再開発対策特別委員会
- 14日 市庁舎建設特別委員会
- 18日 議会運営委員会
本会議(常任・特別委員会
審査報告等)
総務委員会

杉村議員が辞職

平成24年12月3日の定例会の本会議において、杉村康之議員(市民フォーラム)より、一身上の理由で辞職したいとの申出があり、許可されました。同議員は平成15年に初当選し、文教・建設環境の各常任委員会委員長を歴任しました。

内にある『わがまち特例』の対象施設は大手の食品工場の排水施設とリサイクルプラザの排水施設の2か所がある。「従来から、『わがまち特例』の制度はあったが、各市の事情によって、参酌すべき特例率を範囲内で定めることができるようになったことが今回の趣旨である」等の説明がありました。

委員から、「申告に関しては、簡素化により、当然手續も楽になると思うが、十分周知をお願いする」等の意見がありました。
審査の結果、本案については、全員意義なく、原案のとおり可決すべきものと決定し、最終日の本会議において、総務委員長から審査報告があり、審議の結果、全会一致で可決されました。
※寡婦：夫と死別、または離別し、再婚していない女性